

令和6年度 教 育 方 針

校長 野村 博之

北海道教育の基本理念

- 自立** 自然豊かな北の大地で、世界を見つめ、自立の精神にあふれ、自らの夢に挑戦し、実現していく人を育む
- 共生** ふるさとへの誇りと愛着を持ち、これからの社会に貢献し、ともに支え合う人を育む

基本理念の実現に向けて

- 生徒一人一人の可能性を引き出す教育を推進する。
- 学びの機会を保障し質を高める環境を確立する。
- 地域と歩む持続可能な教育を実現する。



空知管内教育推進の基本方針 ふるさと空知を愛する人を
子どもたちが生まれ育ったふるさと空知に愛着と誇りをもつために
子どもたちが将来に向かって夢や希望を描くために
～学校・家庭・地域が総がかりで子どもを育てる～



北海道岩見沢農業高等学校の教育

校 訓 : 至 誠

(誠の心をもって事に当たる。誠実でたくましい態度の生徒を育成する)

1 学校教育目標

- 自己の能力に自信を持ち、生きがいを感じ、明るく豊かな生活と社会を築くことのできる人を育てる。
- ◎ 自ら学ぶ意欲と創造性豊かな「生きる力」を育てる。 (知)
 - ◎ 人、自然を愛し、互いに励まし助け合う協調の心と働くことを尊ぶ態度を育てる。 (徳)
 - ◎ 生涯をたくましく生きる強い意志と体を育てる。 (体)
 - ◎ 広い視野を持ち、次代を担い社会に貢献出来る職業人を育てる。 (技)

2 スクールミッション

- 変化する社会に対応するため、幅広い知識と教養を身に付け、他者と協働して課題解決を図ろうとする生徒を育成する。
- グローバルな視点を持ち、実社会で活躍できる生徒を育成する。

3 スクールポリシー

(1)【育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）】

〔このような力を育てます。〕

- 農業や農業関連産業を通じ、地域や社会の健全で持続可能な発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成します。
 - ア 相手の立場や社会とのつながりなど「理解する力」を育成します。
 - イ 自ら課題を見付け、主体的に学ぶなど「自ら学ぶ力」を育成します。
 - ウ 自由な発想と創意工夫しながら挑戦するなど「創造する力」を育成します。

(2)【教育課程に関する方針（カリキュラム・ポリシー）】

〔このような教育活動を行います〕

- 安定的な食料生産の必要性や農業及び農業関連産業のグローバル化へ対応した学習内容を展開します。
 - ア 各学科の学習目標に応じた知識と技術を習得させるため、実学的な教育を実践します。
 - イ 社会の変化や生徒及び保護者の期待に応える創造的で特色ある学習内容を実践します。
 - ウ 農業経営者育成学科は寮教育を通して、集団生活の意義と朝晩の農業実習を実践します。

(3)【入学者の受け入れに関する指針（アドミッション・ポリシー）】 ↓

〔このような生徒を待っています〕

- 農業及び農業関連産業に興味をもち、将来の農業の振興や社会貢献できる生徒を希望します。
 - ア 基本的な生活習慣を身に付けた生徒
 - イ 規範意識を有する生徒
 - ウ 地域産業に貢献できる生徒

4 教育方針

- (1) 一人一人を大切にする教育を実践する。
生徒の持つ能力を発揮させ、個性の伸長を図り、将来展望を備えた進路希望を育くむことが出来る創意ある教育を推進する。
- (2) 実践学習を推進する。
基礎・基本を大切に、各学科の学習目標に応じた知識と技術を習得させるため、実学的教育を推進する。
- (3) ウェルビーイングを達成する教育を推進する。
持続的な生きがいや人生の意義など、将来にわたる幸福な生き方を育てる幅広い教育を実践する。
- (4) 主体性を育てる。
変化の激しい社会に対応できる主体性と自己教育力を育てるため、自主的・自発的に学習意欲や向上心を育てる。

5 教育課程編成の方針

- (1) 産業社会や地域の求める教育を推進するために、基礎・基本の習得を重視した創造性ある教育課程を編成する。
- (2) 学習指導要領の趣旨を踏まえ、社会の変化や生徒や保護者の期待に応える創造的で特色ある教育課程の編成・実施に努める。
- (3) 学習指導要領の趣旨や理念を踏まえた教育課程を編成する。
- (4) DX化を推進する社会の進展に対応できる、資質や能力の育成を重視した教育課程を編成する。

6 指導上の重点事項

重点目標	(1) 個に応じた指導により、自律し社会で生きていく上で必要な学力を身に付けさせる。 (2) 生徒の安全を確保した上で、自主的・自立的な活動を推進し協働する力を育成する。 (3) グローバルな視野で人や社会と関わることができる、コミュニケーション力を育成する。 (4) 地域農業や産業を担うために、困難に直面して改善できるしなやかな心身を育成する。
学習指導	(1) 「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業実践と授業力の向上に努める。 (2) 育成を目指す資質・能力の定着を図るために、評価と授業改善の一体化を図る。 (3) 家庭学習の定着を図り、学習意欲の向上と主体的な学習習慣の確立を目指す。 (4) 問題発見・解決能力の育成のため、ICTを効果的に活用した学習指導を推進する。
生徒指導	(1) 規範意識や基本的な倫理観の醸成に努め、基本的な生活習慣の確立を目指す。 (2) いじめの積極的な認知に努め、組織的で一貫性のある校内指導体制を確立する。 (3) 共生しあう協調的な人間関係の醸成を目指し、思いやりの心や豊かな感性を育てる。 (4) 家庭との情報共有を図り、生徒の行動・内面的変化に応じた教育相談に努める。
キャリア指導	(1) 望ましい勤労観や職業観を育て、自らの進路選択、自己実現できる力を育てる。 (2) キャリア教育の充実を努め、早期に進路意識を高めて進路決定力の向上を図る。 (3) 家庭との連携を密にして、生徒の能力、適性に基づく進路指導の実現に努める。 (4) 地域社会や地域産業との連携を密にし、地域の期待に応える担い手の育成に努める。
健康・安全指導	(1) 諸調査や教育相談活動等を通して生徒の特性や傾向を把握し、発達段階に応じた心身の健康指導の推進を図り、職業人として必要な強い意志と体力を育てる。 (2) 交通安全、防犯、防災教育を通して、身を守る判断や行動力を育成する。 (3) 感染症への予防と安全指導の推進を図り、自他の生命の尊重を基盤として、自ら判断し、社会の一員として安全に行動できる資質・能力を育てる。 (4) SNS等の情報機器の適切な利用、個人情報に関する情報モラル教育を推進する。
農業指導	(1) 学科の方針に基づいた実験実習計画を再構築し、育成を目指す資質・能力の確実な定着を図り、学科関連産業の担い手を育成する農業教育を推進する。 (2) 農業に関する基礎的・基本的な知識や技能を習得させるとともに、GAP、HACCP等の国際基準に基づいたグローバル教育を推進する。 (3) 課題研究や農業クラブ活動を通して、科学的な探求学習を推進し、主体的学習意欲を高めるSTEAM教育を推進する。 (4) 実験実習を主体にした安全教育を徹底し、農業や産業人を育成する学校農場経営を行う。また、集団生活を通じた寮教育で農業経営者育成教育を行う。